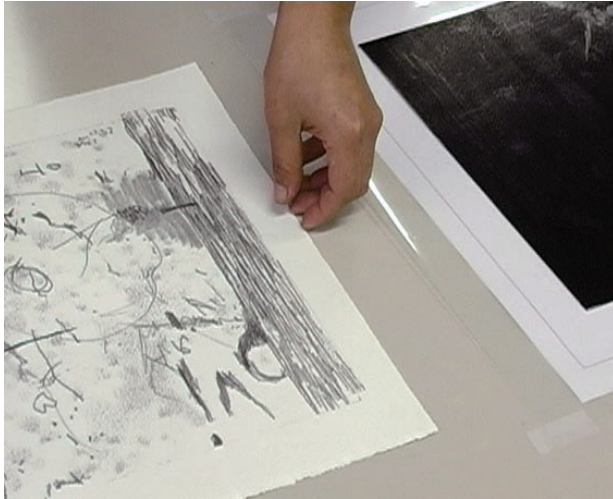




# トランスファー技法

とらんすふぁーぎほう



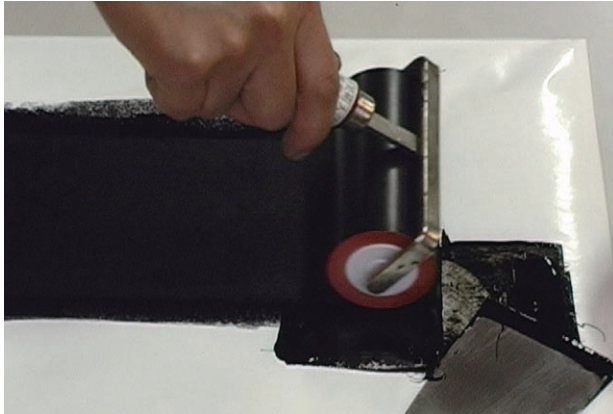
## 概要

トランスファー技法（トレース技法）は、版画のモノタイプの技法のひとつで、樹脂やガラス製の板にローラーでインクや油絵具を均一に乗せてその上に紙を置き、紙の上からドローイングなどを行うことで圧力をかけ、板から紙へインクを転写させる表現技法のことです。

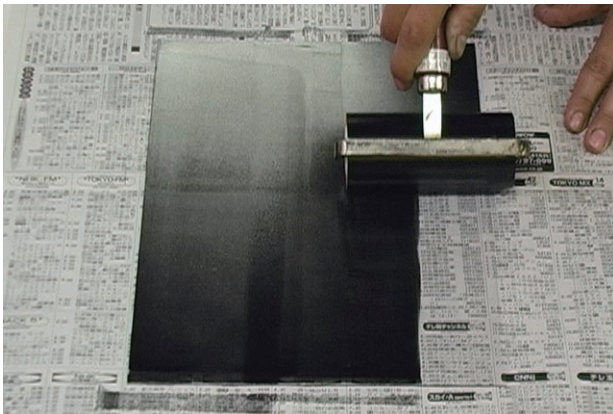
トランスファー技法によって作り出される作品は、描画材を使用して紙に直接描画したものとは異なり、独特の調子を持った線が得られるのが特徴です。トランスファー技法を含むモノタイプは、一般的な版画の特徴である同一作品の複数性はなく、同じイメージを2枚以上作ることはできません。このように、出来上がる作品が一点限りであること、他の版画と比べ比較的描画が自由であることなどから、版画技法の中でもより絵画的な表現技法とすることができるでしょう。

トランスファー技法の制作の進め方としては、まずイメージサイズに裁断したアクリル樹脂製（カードケースを裁断したものでもよい）やガラス製の板を用意します。次に紙パレットなどに平版用プリントインクか銅版画用のインク、油絵具（新聞紙などに出して油抜きをしたもの）を出し、ヘラなどで良く練っておきます。この時インクが硬ければプレートオイルを、やわらかければ炭酸マグネシウムを少量混ぜて硬さを調節します。できたインクはハンドローラーに巻きつけて、インクを板に均一にのせていきます。インクを均一に乗せることができたなら、その上から紙をそっと置き、紙の上から鉛筆や指などで描画します。この技法では、描画の際に紙に圧力が加わった箇所にインクが着くために、描画材や描画をする力、また、使用する紙を変えることでインクの付着量が変わり転写される調子が変わるので、いろいろと試してみると良いでしょう。

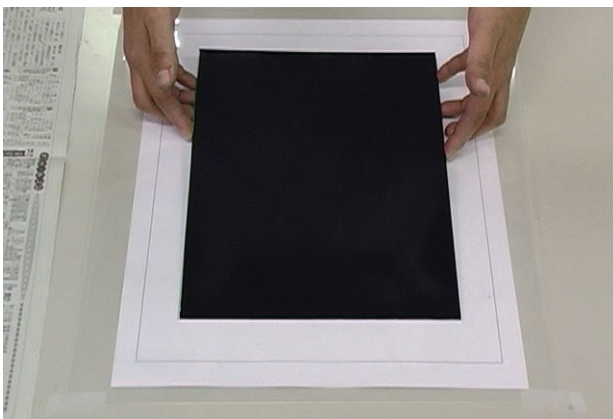
## トランスファー技法



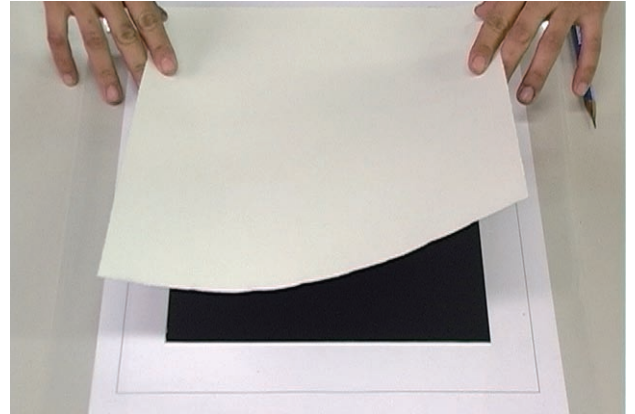
手順1. リトグラフ用インク、銅版画インク、油抜きした油絵具のいずれかを用意し、ヘラでよく練ります。光沢が出るくらいになったらローラーで伸ばします。



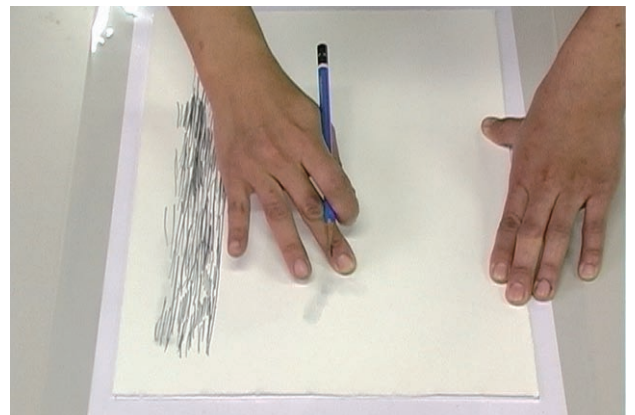
手順2. イメージサイズに切ったアクリル板や裁断したカードケースを用意し、その上に均一にインクをのせていきます。



手順3. インクをのせたら見当の上に移動します。



手順4. 支持体となる紙の表側を下にしてを見当に合わせてそっと置きます。



手順5. 紙の上（紙の裏側）から鉛筆や指などを使って、圧をかけます。



手順6. 描画が終了したら、紙を版からゆっくりはがせば完成です。